

### 1 罪名別犯罪認知件数等

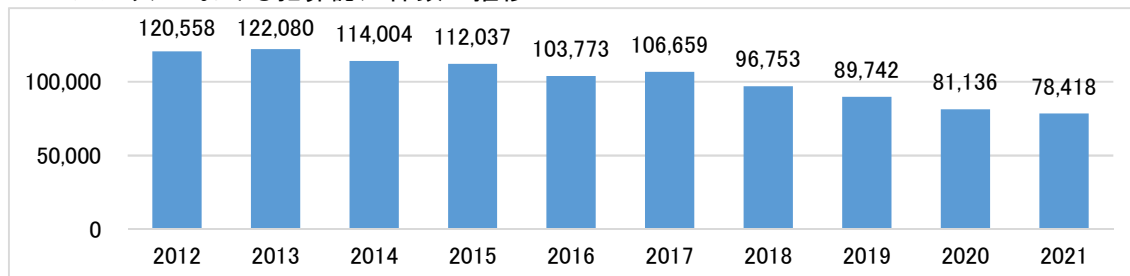
	ブルガリア			日本	Bを100とした場合のAの指数
	認知件数	対前年増減率	A:人口10万人当たりの認知件数(※2)	B:人口10万人当たりの認知件数(※3)	
総数(※1)	78,418	-3.3%	1,146.6	452.7	253.3
殺人	245	+0.8%	3.6	0.7	514.4
強盗	840	-16.2%	12.3	0.9	1,354.6
強姦性交等	106	-21.5%	1.5	1.1	140.1
強制わいせつ	206	-13.4%	3.0	3.4	88.3
放火	964	-5.2%	14.1	0.6	2,361.9
略取誘拐・人身売買	104	-21.8%	1.5	0.3	490.6
窃盗	24,435	-9.6%	357.3	304.2	117.5
交通事故死者数	561	+21.2%	8.2	2.1	390.5

※1 刑法犯認知件数。ブルガリアの刑法と日本の刑法では内容や範囲が異なるため、刑法犯として計上の対象となる罪名も異なる。

※2 ブルガリア統計局ウェブサイトに掲載の人口統計をもとに、683万9千人として計算。

※3 日本統計局による人口推計をもとに、1億2,550万2千人として計算。

### 2 ブルガリアにおける犯罪認知件数の推移



### 3 主な地域(※4)における犯罪認知状況

	モンタナ	ヴラツァ	ヴァルナ	ブルガス	プレヴェン	ロヴェチ	スタラ・ザゴラ	ソフィア市
認知件数(※5)	1,662	2,061	5,544	4,614	2,563	1,325	3,321	13,622
人口10万人当たり	1,317.0	1,299.9	1,179.6	1,126.7	1,091.2	1,081.5	1,063.1	1,033.1

※4 人口10万人当たりの認知件数上位8位までの市・県を抜粋。

※5 生命・身体に対する犯罪(殺人、傷害等)及び財産に対する犯罪(強盗、窃盗等)の件数。

### 4 当館コメント

ブルガリアでは近年、犯罪の減少傾向が続いており、犯罪認知件数はここ10年で65%にまで減少しました。他方、人口10万人当たりの犯罪認知件数を日本と比較すると、ブルガリアは日本の約2.5倍で、罪名別にみると殺人は約5.1倍、強盗は約13.5倍と、凶悪犯罪について非常に高い水準にあります。

地域別にみると、ソフィア市、ヴァルナ県、ブルガス県といった主要地域では、依然高水準ではあるものの長期的には減少傾向である一方、小・中規模県においては長期的にみても横ばいの傾向が続いており、注意が必要です。